くみやま 議会だより

No. 144
平成28年
11月15日号
発行／京都府
久御山町議会

9月定例会

補正予算など……2P
討論・採決結果……3P
決算審査（平成27年度）……4P
委員会からの報告……5～6P
5会派が代表者質問……7～12P
6人が登壇　一般質問……13～19P
研修報告・意見書など……20～21P
このまちこのひと……22P

［表紙写真：気になる金メダル（東角幼稚園運動会）］

12月定例会の予定

12月7日（水）	開　会
12月19日（月）	一般質問
12月20日（火）	予備日
12月22日（木）	閉　会

※日程は、変更することがあります。

「(仮称)さやまこども園整備工事請負契約締結」は否決

9月定例会

賛成5人：反対7人

9月定例会（8日～29日）は、8月の町長選挙後、初めての議会です。

町長提案は、人事、平成28年度会計「補正予算」、平成27年度会計「決算」、工事請負契約の締結、議員提案では、「意見書」がありました。

「決算」以外は採決の結果、固定資産評価審査委員選任に同意し、補正予算は可決となりましたが、工事請負契約締結は、否決になりました。

23日の代表者質問には5人が、26日の一般質問には6人が登壇し、町長の町政方針や町政の課題を質しました。

固定資産評価審査委員会委員

村田傳四郎 氏（再任）

任期満了により、村田傳四郎氏（68歳・森）を選任することに同意。

人権擁護委員

今村 曉子 氏（再任）

小西 義清 氏（再任）

任期満了により、今村曉子氏（66歳）、小西義清氏（69歳）を選任することに同意。

平成28年度 補正予算

地区計画コンサル委託料 254万円

町「第5次総合計画」で、産業流通施設などの土地利用を検討・促進する産業活用促進エリア（ジャンクション北側）での調査費用。

B型肝炎ワクチン予防接種事業 199万円

今年10月1日から定期（公費）接種となったための医師委託料等。

対象は、平成28年4月1日以降に生まれた0歳児。

旧山田家住宅保存事業 675万円

畳の交換、漏電防止などの施設改修ほか、ボランティアガイドのはっぴ、パンフレット印刷等。

家庭向け太陽光発電・蓄電設備購入補助事業 200万円

住宅用太陽光・蓄電設備を新築時及び新たに設置した費用の2分の1以内で、最大40万円を補助する。

太陽光発電設備は上限4万円、蓄電設備は上限36万円。（府の制度に上乗せ）

◆平成28年度補正予算一覧

＊万円未満四捨五入　（▲＝減額）

区　分		補正額	補正後の額
一　般　会　計（第3号）		2億809万円	74億　232万円
特別会計	国民健康保険（第1号）	373万円	25億2073万円
	三郷山財産区（第1号）	23万円	479万円
	公共下水道事業（第2号）	▲294万円	8億5831万円
	介護保険（第1号）	6111万円	13億6591万円
	後期高齢者医療（第1号）	175万円	2億　25万円
水道事業会計（第1号）	事業収益	294万円	5億6914万円
	事業費用	▲217万円	5億9567万円
	資本的収入	2億円	2億4838万円
	資本的支出	402万円	5億8094万円

討論

地中熱エネルギーを含む、「（仮称）さやまこども園整備工事請負契約の締結（契約額7億9348万円）」は、採決の結果、賛成5人、反対7人のため否決となりました。

3人の討論要旨は次の通りです。

反対　戸川和子 議員

エネルギーの在り方検証すべきだ

平成28年度の予算では、国から3分の2の補助があると聞いたが、不採択だった。町単費では高額すぎ、負担が大きすぎる。

地中熱利用の場合、今後のメンテナンスやモニタリングを考慮すると疑問に感じる点がある。

今一度、ガスや電気なども含めたエネルギーの在り方を、検証すべきだ。

反対　巽　悦子 議員

幼保連携型認定こども園化のため

佐山幼稚園と佐山保育所とを一体化させ、保育所でも幼稚園でもない、教育基本法上の「学校」の「幼保連携型認定こども園」の工事であるため反対する。

佐山保育所の耐震化工事だけで十分だ。幼稚園児と保育所児とは、親の仕事の有無や日数・時間等、環境の違いが大き過ぎ、子どもへの負担を感じる。

反対　中井孝紀 議員

再生可能エネルギー推進だが町単費7千万円は認められない

平成28年度予算時、地中熱エネルギーの工事費3分の2は、国の補助金が出ると説明していた。

国の補助金が不採択になると、ガスに変更すると言い、また地中熱でと答弁が変わった。

再生可能エネルギー推進の立場だが、4千4百万円の補助が出ないのに、町単費7千万円を必要とする地中熱エネルギー工事契約の締結は、認められない。

全議案の採決結果

■賛否が分かれた議案

○＝賛成、×＝反対、✖（太）＝反対討論あり。

議案／議員		信貴恵太	松本義裕	林吉一	中野ますみ	松尾憲	中大介	田口浩嗣	内田孝司	岩田芳一	中井孝紀	戸川和子	塚本五三藏	巽悦子	結果
意見案第1号	北陸新幹線京都府南部ルートに関する意見書	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	✖	可決
議案第63号	（仮称）さやまこども園整備工事請負契約の締結について	○	○	○	×	×	○	×	○	×	✖	✖	—	✖	否決

（注）島議長は賛否同数以外は採決には加わらない。議案第63号は塚本副議長が、議長代行のため採決に加わらず。

■全員賛成で可決した議案

第48号	久御山町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
第56号	平成28年度久御山町一般会計補正予算（第3号）
第57号	平成28年度久御山町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）
第58号	平成28年度久御山町三郷山財産区特別会計補正予算（第1号）
第59号	平成28年度久御山町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
第60号	平成28年度久御山町介護保険特別会計補正予算（第1号）
第61号	平成28年度久御山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
第62号	平成28年度久御山町水道事業会計補正予算（第1号）

平成27年度会計　決算特別委員会

決算審査

決算審査は、各部課から説明を受け、予算の適正や成果等を調査します。最終日には総括審査をおこないます。

◆審査日程

月　日	時　　間	内　　容
10／3	13：30～	現地調査
10／6	10：00～	総務部 消防本部 会計課 議会事務局
10／11	10：00～	民生部
10／17	10：00～	事業建設部
10／24	13：00～	教育委員会
10／28	13：30～	総括審査

委員会構成

委員長	田口　浩嗣	（清風会）
副委員長	塚本五三藏	（緑風会）
委　員	松本　義裕	（くみやま みらい）
	林　吉一	（くみやま みらい）
	中野ますみ	（日本共産党議員団）
	松尾　憲	
	戸川　和子	（公明党議員団）

〈現地調査〉

東一口地区下水道工事

山田家住宅長屋門の長塀修理工事

■平成27年度会計決算（予定）

区　分		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		69億6198万円	66億8901万円	2億7297万円
特別会計	国民健康保険	25億 111万円	24億7864万円	2247万円
	三郷山財産区	3204万円	3162万円	42万円
	公共下水道事業	8億3627万円	8億2478万円	1149万円
	介護保険	12億3689万円	11億7572万円	6117万円
	後期高齢者医療	1億9217万円	1億9037万円	180万円
水道事業会計	収益的収支	5億6243万円	5億3991万円	2252万円
	資本的収支	1億3906万円	2億7883万円	▲1億3977万円

＊万円未満切り上げ　（▲＝不足額）

委員会レポート

9月の総務事業常任委員会（13日）は、クロスピアくみやまでスタートさせる「レンタサイクル」と「森中内・相島東地区の地区計画の変更」、民生教育常任委員会（16日）は、「町民プールの利用状況」について、審議状況を報告します。

総務事業常任委員会・協議会

レンタサイクル
近隣市との連携で利用しやすい工夫を

10月1日から、「まちの駅クロスピアくみやま」で、レンタサイクルを開始する。

Q レンタサイクルは、クロスピアくみやまで借り、返却もクロスピアくみやまでするのか。

A その通りだ。

<久御山町レンタサイクル>
＊利用時間…９時から17時
＊利用料…１回200円
＊受付…クロスピアくみやま

Q 例えば、八幡方面や近鉄大久保駅など、町外で自転車を降りることができるようにすれば、利用も広がるのでは。

A 基本的には無しだが、今後、他市町の例も参考に研究する。

森中内・相島東地区
全体的な土地利用はできているのか

森中内・相島東地区内の道路を「削除」した地区計画に、変更する。

Q 地区計画を変更するのは理解するが、全体的な土地利用計画はできているのか。

A 東側はすでに決まっており、西側の区域も一体となって使用されるので、道路の必要性がうすれてきたため。

Q 国道478号へ出入り口をつくるのは、可能か。

A 可能だが、高低差があるので難しい。

民生教育常任委員会・協議会

町民プール
入場者増、駐車スペースの確保はできているのか

Q 入場料の値上げは。

A 公共施設の利用料金全般を行政改革として議論していく。

Q （入場者が増えているが）車での来場の制限、スペースの確保はできているのか。

A チケット販売の際に呼びかけ等をおこなっている。

プール開場日数は48日間。入場者は、３万５８２７人で一日平均７４６人は、過去２番目に多い。２年連続３万人超えについて、担当課は「期間中、雨の日が２日と少なく、暑い日が続いたため」と説明。

町民プール

入場者・ふれあい券利用状況（５年間）

年度	開場日数（日）	入場者数（人） 合計	ふれあい券利用者	一日平均数	ふれあい券利用枚数
28	48	35,827	5,396	746	3,650
27	48	31,997	5,273	667	3,579
26	47	29,043	5,275	618	3,638
25	50	31,461	6,100	629	4,125
24	49	31,475	6,049	642	4,036

＊昨年より開始の利用券「事前販売」は、21枚。昨年は139枚。

㊟４歳～小３の幼児や児童が「ふれあい券」を利用する場合、「券」１枚で同伴の保護者も入場できるため、利用枚数と利用者数は異なる。

内　容：「災害相互応援（応急給水）」体制
実施日：７月27日

総務事業常任委員会／閉会中の事務調査

熊本地震給水活動から…課題は？

■災害（給水）相互応援体制とは

京都市上下水道局総務部資器材・防災センターを視察した。

○久御山町は南部ブロック

日本水道協会京都府支部災害相互応援（応急給水）体制は、北部、中部、南部の３ブロックで対応しており、久御山町は南部ブロックで、宇治市が情報連絡総括都市としている。

○緊急時情報連絡体制は

平成６年10月に「災害相互応援」覚書が策定され、趣旨や応援内容・体制（組織編制）、負担費用等を明記した。また、平成15年９月には「運営要領」を策定した。

■熊本地震での応急給水活動

平成27、28年度京都府支部合同防災訓練ＤＶＤを視聴後、４月14日発生の熊本地震における京都府支部の支援状況の説明を受けた。

４月16日より開始した、復旧・給水活動の「災害相互応援」は、応急給水活動（第１次隊～第３隊）と給水管漏水検査と修繕工事（第１次隊～第３次隊）を行った。なお、給水管修繕工事には京都市公認水道協会と指定給水装置工事事業組合の協力があった。

（左）水道管資器材、毛布等の備蓄状況を見学

内　容：介護予防、「（仮称）さやまこども園」
実施日：８月１日

民生教育常任委員会／閉会中の事務調査

いきいきホール利用者…２か年増加傾向

■「いきいきホール」は介護予防の拠点

健康センター「いきいきホール」は、住民の健康維持・増進のための介護予防施設として、平成15年４月に開設した。

○施設概要（利用時間・利用できる人）

トレーニングルーム及び事務室（１階）、デイルーム２室とくつろぎサロン（２階）。

開館日時は、平成28年度より１時間早め午前９時からとした（月曜日と年末年始は休館）。町内在住・在勤の40歳以上の人。トレーニングルームの利用と介護予防教室の参加は、町内在住者のみ。

管理・運営（指定管理委託）は、㈱ノーザンライツ・コーポレーションで2,170万円（平成28年度）。平成27年度の利用状況…21,894人。

■開設予定の「（仮称）さやまこども園」

平成30年4月より開設予定の「（仮称）さやまこども園」建設工事は、①第１園庭整備、②園舎整備（新築・改築）と③第２園庭整備の３つの工事を進める。現在は、①及び③は先行して整備工事中。

①第１園庭整備工事…内屋敷公園に園庭の遊具を移設、プールなどを撤去。工期は、6月24日～11月30日の予定。契約金額は、2,066万円。

②園舎整備工事…現在の園庭に園舎を新築。既存の幼稚園園舎を改修。

③第２園庭整備工事…あいあいホール西側に面積約500㎡の園庭を整備。朝夕は園児送迎用の駐車場としても使用する予定。

代表者質問 5会派が町政方針を問う

所属会派	質問者	質問項目	ページ
公明党議員団	戸川　和子　議員	①次代に誇れるまちづくり ②学力の向上といじめ、不登校対策	P 8
緑風会	塚本五三藏　議員	①やすらぎが実感できる福祉施策 ②学校教育の充実 ③未来に進化する行財政改革	P 9
くみやまみらい	内田　孝司　議員	①災害時緊急情報通信システム ②水害対策	P10
清風会	中井　孝紀　議員	①選挙公約の具現化	P11
日本共産党議員団	巽　悦子　議員	①「平和都市宣言」のまちと恒久平和の理念 ②医療・介護保険制度「改正」とその対応 ③就学援助制度の充実と中学校給食の運営 ④安心して暮らせるまちづくりと交通ネットワークの拡充	P12

※会派を代表して質問する「代表者質問」では、町民の生活にかかわることや町政運営・方針について質問します。答弁者は主に町長や教育長です。

（代表者質問）

公明党議員団
戸川和子 議員

Q なでしこ交番を設置しては
A 京都府へ要望していく

質問

近年、路上強盗、暴力、傷害、脅迫及び詐欺、性犯罪など、女性が被害者になる割合が、増加傾向にある。

そのような中で、なでしこ交番は、女性警察官が24時間体制で常駐し、ストーカーやDV、性犯罪などについて、また、女性や高齢者、子どもたちが気軽に相談できるような交番を目指している。

本町でも、なでしこ交番を設置しては。

ポリスみやこ

町長

なでしこ交番は、京都府警察本部が、平成27年から設置を進めている。

現在、京都府内の10市21警察署、31交番で実施されている。

本町でも、なでしこ交番設置を、京都府へ要望していく。

Q 小中学校でのいじめの実態は
A 大半、指導・解決している

質問

いじめをなくすためには、まずは日頃から個々に応じたわかりやすい授業をおこなうとともに、深い児童・生徒への理解に立ち、指導の充実を図ること。そして、児童生徒が楽しく学びつつ、いきいきとした学校生活が送れるようにしていくことが重要である。

本町のいじめの実態は。

小学校の授業風景

教育長

今年度1学期実施のいじめ調査の結果では、いじめを受けたと感じた児童・生徒数は小学校では、842人中184人で全体の約21％、中学校では431人中9人で全体の約2％となっている。

その後、聞き取り調査をおこない、大半の児童生徒は、指導・解決している。

1件が、指導中及び経過観察中であり、解決に向けて取り組んでいる。

質問

平成26年に、社会総がかりで、いじめをなくそうという観点から、第三者的な組織編制でいじめ問題対策調査委員会が設置できるようになった。

これは、いじめ等による重大事態が起こった場合に、教育委員会または学校の要請に応じて、調査ができる組織である。

今までに、このいじめ問題対策調査委員会が開かれたことはあったのか。

教育長

年3回開催したが、重大事案の審議はない。

質問

「いじめは、してはいけない」という道徳教育が、重要になると思うが、道徳の時間は、十分確保されているのか。

教育長

当然、きちっと確保はしている。

平成30年度からは、道徳という教科に位置づけられるので、今後、道徳教育の推進を一層進めていきたい。

（代表者質問）

緑風会
塚本五三藏議員

Q 温暖化対策の方針と展望は

A 計画策定を検討する

質問

地中熱エネルギーの利用効果は、電力消費量46％の削減、CO2発生量は50％の削減となり大変有効である。

世界各国で地球温暖化による異常気象で、頻繁に起きている災害を少なくするためと、安全で安心な社会の構築や将来をみすえた、温暖化対策が喫緊（きっきん）の課題である。今後の方針と展望は。

町長

再生可能エネルギーの利用が重要である。太陽光発電や蓄電池への補助制度で、普及啓発に努め、災害時にも役立つと考えている。

再生可能エネルギーの利用を、どのように取り組んでいくかは、重要な課題である。計画の策定など、スピード感を持って検討する。

地中熱利用のイメージ図

Q 特養老人施設の設置場所の進展は

A 協議がまとまり当該地の利用を期待する

質問

特養老人施設の設置場所が、約6ヶ月を過ぎても進展がない。

平成31年度中の介護施設の開設時期に大きく支障が出る。

土地整理組合と協議を打ち切り、他の候補地に設置すると聞く。

佐山西ノ口地区開発の、まちづくりのコンセンサスでの構築が急務で、行政は、民民の話として、高みの見物ではなく、汗をかき、努力する必要があるが。

町長

地区計画は、佐山西ノ口地区一帯を医療・介護・福祉関連の施設等に絞った用途の制限を設けた。

コンセンサスで思いの違いがあったが、関係課は、特養老人施設の募集や地区計画の決定など、共通認識で事務を進めてきた。

協議が進まない状況であるならば、検討する必要がある。

佐山西ノ口地区

今般の特養老人施設の進出は、ぜひとも協議がまとまり、当該地の土地利用を期待する。

Q 教職員に町独自の表彰制度の創設は

A 独自の内容で実施すべきと考える

質問

久御山学園（保幼小中一貫的教育）の教育機関に勤務する教職員に対し、地道な努力を重ね、学校教育の推進に優秀な教育の専門家として認証及び表彰することで、児童・生徒は学力アップとなり、管理職と教職員の意識と資質のレベルアップにつながる。

優秀な教育の専門家として、本町独自の認証と表彰制度を創設し、表彰する考えは。

教育長

表彰制度は国や京都府において、既に実施されている。

本町で実施するには、独自色を持たせた内容で実施すべきであると考えている。

（代表者質問）

くみやま　みらい
内田孝司 議員

Q 治水について町長の決意は
A 内水排除対策に全力で努めたい

質問　宇治川が危険水位になれば宇治川への排水が停止される。流域市の宇治市、城陽市、京都市などの関係機関で構成する内水排除対策の協議の取り組みは。

町長　昨年11月、近隣市の貯留施設の視察や情報の共有を図ってきた。今後、内水排除対策の諸課題を整理する中で、調査・検討をおこない、本町独自施策を進めていきたい。

質問　災害時に対応する町職員が十分に把握していることが重要と思う。研修等について、町長の思いは。

町長　研修は、治水や内水排除メカニズム等についてはおこなっている。今後、全職員に対し、本町の治水の考え方などについて理解を深める機会を設けたい。

質問　全国各地で想定外の降雨が見られる中、宇治川・木津川堤防の強化については、今後も更に要望を行うことが重要と考えるが。

大内川最下流部と除塵機

町長　宇治川・木津川堤防の強化や排水機場ポンプの増設は、今後も引き続き、粘り強く国に要望していく。

質問　古川は排水を多く貯留できるように、大内川は、強制排水や最下流域の東池地域に調整池をつくるなど、あらゆることを検討する必要がある。治水に対し町長の決意は。

町長　治水対策について大変貴重な意見提言として受け止め、内水排除対策の実現に向け全力で努めたい。

Q 災害時緊急情報システムの構築は
A 大変有効であり整備に努める

質問　災害時に住民に必要なのは、迅速・正確・最新の避難情報の発信や伝達である。災害時緊急情報システムの構築について、町長の思いは。

同時放送がおこなえる
同報無線スピーカー

町長　迅速にすべての人への伝達は大変有効であり、住民と企業で働く皆さんの命を守るため、同報無線の整備に努めていく。

質問　同報無線の整備導入にむけた具体的な計画はあるのか。町内すべての方々の安心・安全の確保が最優先であり、早期に取り組んでは。屋外同報無線設備と共に、屋内受信機を各戸に配布することは。

町長　導入については来年度中に意見をまとめ、早期実施を目指したい。戸別受信機の導入も委員会で意見を伺い調査、検討する。

（代表者質問）

清風会
中井孝紀 議員

Q 同報防災無線設置に補助金の活用は

A 国・府の制度を調査し利用したい

質問

同報防災無線は、従来から有効な情報伝達手段として、早急に導入すべきと指摘してきたが、巨額な予算が必要になるために導入をためらわれていた。

今回、整備を進めていくと言われている。財源問題は、補助金などを活用するのか、または町単費でも導入するのか。

町長

本町に最適なシステム構築がどのようなものかを出しながら、費用は当然高価な単価になると思うので、国・府の補助金がないか十分に調査したうえで利用できるものは利用したい。町単費でいくかどうかは、今は言えない。

Q 新しい交番の要望状況は

A 引き続き粘り強く交渉したい

質問

以前は新しい交番の設置を南大内地区周辺にと要望していたが、今回は場所を指定していない。

10年以上要望していながら、一向に進んでいないのはなぜか。

町長

枠を広げて国道1号や府道沿いなどを協議してきたが、最終的には総合的な判断のもと、なかなかOKが出ないため前向きに取り組むことができない状況である。

質問

宇治署が被災した場合に、クロスピアくみやまが代替地として調印しているが、交番の新設が先ではなかったのか。

町長

宇治署長にも、交番の設置は課題であると伝えてあり、本部の方にも伝えていただきたいと再三、申している。

Q 消防の広域化を推進するのか

A 積極的に推進する姿勢を明確にした

質問

第5次総合計画では、「消防の広域化を検討する」としているのに、公約では「広域化を推進」といっている。メリット・デメリットの整理はできたのか。

町長

本町は単独消防であり、今後はスケールメリットを求めていかなければならないと思っている。

町のスタンスは、検討ではなく積極的に推進という姿勢を明確にした。

質問

新市街地を誘引する東西軸道路の整備とあるが、具体的にはどのことを指すのか。

現在は2本の府道が大変混雑している。バイパス的な東西道路の整備が必要となっているが現状は。

町長

町道田井・市田線の延伸及び周辺道路の拡幅整備等を新市街地の整備に合わせて検討したい。

従来の東西道路の整備については進んでいない状況だが、引き続き府に要望したい。

検討したいとする町道田井・市田線の延伸整備箇所

（代表者質問）

日本共産党議員団
巽　悦子 議員

Q 非軍事の人道支援国に発信を

A 否定的な意思表示は考えていない

質問

稲田防衛大臣は、南スーダンへのPKO派遣予定の自衛隊任務に、憲法違反の「駆けつけ警護」「宿営地共同防護」を示唆した。

8月15日、町平和祈念集会で、「平和都市宣言」の恒久平和を、どう受けとめ、読み上げたのか。

また、PKO派遣は憲法9条に立ち、非軍事の人道支援を国に発信して頂きたい。町長の考えは。

「平和都市宣言」碑（役場前）

町長

法治国家である我が国は、憲法を遵守して平和を守り抜かなければならないと考える。

また、PKOへの派遣や任務について、否定的なアクションや意思表示は考えていない。

Q 公約の「新バス路線誘致」の時期は

A 今の段階ではいつまでとは言えない

質問

町長の公約に「民間新バス路線の誘致」とある。

いつまでに実現するのか。

町長

今の段階でいつまでにと言うことはできない。バスを一人でも多くの方が利用していただける機運の高まりが必要かと考える。

質問

住民の方から去年、請願が提出された。これが機運の高まりだ。「公共交通ネットワーク」を充実するための対話を始めることだ。

公共交通「基本条例」や「基本計画」を住民とつくり、その行程を公表していくことが大事では。

町長

地元住民の盛り上がりということでまとまりができた場合、請願もそうかと思う。バス事業者、住民、町で協議を進めていく中で、本町の状況に即した新たなバス交通の導入を構築していければと考えている。

時期を見きわめる中で考えたい。今はそういった時期にはないと判断している。

Q 給食の運営は自営か民間委託か

A 検討中だが効率的運営をはかる

質問

中学校給食の運営（調理など）は、自営か、民間委託か。

学校給食の調理現場

教育長

平成30年度実施の運営だが、現時点では検討中であるが効率的運営がはかれるよう取り組みたい。

質問

2010年の国会では、民間委託の場合、発注者が調理現場で具体的な指示、打ち合わせ、調理員らが指示通りに調理を行っている場合、「適正な請負」になるのかに対し、厚労省職業安定局次長は、「一般論だが偽装請負に該当する」と答弁している。

つまり民間委託の場合、栄養教諭は、直接調理員に指示できなくなる。「効率的運営」の詳細を。

町長

さまざまな観点から効率を目指すことも必要かと思っている。

一般質問 ここが聞きたい

質問方式／質問者	質問項目	ページ
一括質問　林　吉　一 議員	①持続的発展を図るための農業施策 ②ＬＥＤ導入計画	P14
一括質問　松本　義裕 議員	①中央公園の整備 ②宿泊施設の誘致	P15
一括質問　信貴　恵太 議員	①府道宇治淀線の渋滞対策 ②工業地域内の道路等の整備	P16
一問一答　田口　浩嗣 議員	①災害時の要支援者や弱者対策 ②農業支援施策	P17
一問一答　松尾　憲 議員	①２期目の町政運営の基本的な考え方 ②国・府との太いパイプづくり	P18
一括質問　中野ますみ 議員	①中小企業振興 ②ＴＰＰによる影響	P19

一括質問 ➡ 議員の質問時間の制限はない。質問回数は２回まで。

一問一答 ➡ ２回目からの質問は、１つの事項を深く掘り下げて何度でもできる。
ただし、議員の質問時間は30分以内。

※陳情や請願等の手続き、議会日程など詳細は、議会事務局にお問い合わせください。
議会事務局：<TEL>　075（631）9996、 0774（45）0105

■一般質問■

林　吉一 議員

一括質問方式

Q 農家の今後の課題は

A 一味違った農産物とするため研修など取り組む

質問

本町の農業は、若手が育っていると言われている。

農業を今後支えていく若手や中核的担い手である農家の現状と今後の課題は。

産業課長

各農家の大きな努力により、自己完結型として生産から販路まで築いてこられ、単純に農地集約をすれば農家所得に繋がるとは一概には言えない。

無農薬や減農薬での安心・安全な農産物を生産し、本町の農業が他と一味違った農産物として歩んでいけるように、農家の声を尊重しながら認定農業者の研修など取り組んでいく。

質問

他との違いを出し、本町の農産物は町で消費する地産地消の取り組みについて、町長の考えは。

町長

良い物を地元で消費することも重要である。

第一歩として、学校給食への久御山町産の低農薬野菜の供給に取り組む。

町内のねぎ畑

Q LED導入調査はどの程度進んでいるのか

A 平成29年度2月完了予定である

質問

LED導入に向けての調査業務として予算計上されているが、現在どの程度まで事業が進んでいるのか。

公共施設内設備の進ちょく状況は。

都市整備課担当課長

町内の全ての交通安全灯に対し現地調査をおこない、今後の導入計画に向けて、適切な灯具の選定や施工管理などについて検討する。

今般の調査業務は、平成29年2月末完了の予定である。

行財政課長

役場庁舎は、平成29年度内に全フロアの主要な蛍光灯をLEDに交換する。

佐山小学校の体育館、（仮称）さやまこども園は、LED化を検討、予定しており、その他の施設についても、順次検討していく。

LED防犯灯

質問

LED導入後、自治会の交通安全灯の管理についてどのように考えているのか。

また、地域住民の皆さんの安心・安全を確保するためにも、新たな交通安全灯の設置について、町の考えは。

都市整備課担当課長

今まで自治会で管理をお願いしていた交通安全灯についても、町が一括管理をする。

また、不点灯・球の交換などについても町で対応する。

新たな設置箇所については、自治会から要望をいただく中で、現地調査をおこない設置に努める。

■一般質問■

松本　義裕 議員

一括質問方式

Q 中央公園拡充に伴う野球場やサッカー場の建設は

A グラウンドの代替機能確保の方向性を定めていく

質問

町長が、「くみやま未来創造プラン35の宣言」の中で挙げている、中央公園拡充整備について、どのような対策を考えているのか。

町長

町内全体の公園緑地についてのあり方を検討する中で、個別の改修計画を定めていきたい。

質問

木津川河川敷運動広場において、大雨による浸水の影響で、グラウンドが浸食され、運動をするのには危険な状態である。

また、大雨により使用できない期間は、利用者に調整をしてもらう等、ご不便をかけている。

中央公園の拡充整備の検討にあたり、運動公園について、再度、熟考しなければならない。

中央公園拡充計画に伴い、野球場やサッカー場建設の考えは。

町長

中央公園の拡充を検討する中で、木津川河川敷運動広場の部分的な代替機能確保についても、方向性を定めていきたい。

浸食された木津川河川敷運動広場

Q 観光ホテル等の宿泊施設の建設及び誘致は

A 府と協議し、情報収集に努めながら検討する

質問

東京オリンピック・パラリンピック開催により、国内への訪日客の大幅な増加が予測される。京都府からも、南部地域に観光ホテルの増設を望まれているが、本町に宿泊施設がない事についてどのように考えているのか。

行財政課長

ホテル等の誘致について、今後の交流人口の増加や、企業等へのビジネス利用などで商工関係者からも要望をいただいており、必要性は感じている。

質問

京都府南部地域は、京都市、大阪府、奈良県の窓口として位置しており、観光の拠点として大変便利な地域である。

また、それに附帯して、パークアンドライドの施設を整備、充実、させれば、近隣市町村にはないすばらしい施策となる。様々なニーズに応じていけば、決して無駄にはならない。

観光ホテル等の宿泊施設の建設及び誘致の考えは。

観光拠点となりうる久御山町

町長

宿泊施設の設置については、京都府知事等との懇談の中でも、そのような話題も出ている。

自動車によるアクセスのよさを生かした観光宿泊や、本町企業へのビジネスでの利用、スポーツ交流等で遠征された方の宿舎など、様々な利用が期待できる。

京都府と協議し、また情報収集に努めながら、検討していきたい。

■一般質問■

信貴　恵太 議員

一括質問方式

Q 東西軸道路の整備で具体的な構想は

A 延伸や拡幅の可能性を検討する

質問

選挙時の宣言プランと、第5次総合計画の土地利用構想で、人と企業が定着する、基盤整備や市街化ゾーンの拡大を誘引する、東西軸道路の整備構想の具体的なプランは。

町長

東西軸道路の整備は、本年3月に策定した、第5次総合計画の産業立地促進・住街区促進ゾーンで、市街化区域拡大の検討や周辺住環境などと調和した住宅形成の促進、産業活動の活性化を図るための土地利用を推進する。

今後、都市計画マスタープラン策定の中で、これらのゾーンの市街化整備で、町道田井・市田線の延伸や周辺道路の拡幅などの可能性を検討する。

質問

高齢者や子どもの安心・安全を確保で、朝夕、生活道路に車両進入禁止の対策はどうか。

また、渋滞対策で府道のバイパス的な機能として、木津川堤防の道路活用を提案して、一年が経過した。

その後、国土交通省や京都府へ要望したか。

木津川堤防

都市整備課担当課長

通行規制は、車両が通行できる道路形態がある以上、進入禁止は非常に難しい。

生活道路への侵入を抑止する看板を設置し、今後も適所に看板を設置する。

道路活用は、地域住民の意向や車が通過する事での環境問題、近隣市との調整など、大変厳しい問題があり、実現の可能性を整理し、検討を進める。

木津川堤防道路の活用を国土交通省や京都府へ要望をおこなった。

Q 工業地域内の側溝や水路の維持管理は

A 良好な環境づくりに努める

質問

本町は、1600社を超える企業に支えられて、不交付団体を維持することができている。

今の工業地域の形態になって40年になり、道路や水路で老朽化が目立つところや、未改修のところもあるのでは。

また、工業地域内の道路側溝や水路の清掃などの整備計画や維持管理はどうか。

工業地域内

都市整備課担当課長

道路の長寿命化修理計画を策定し、道路の舗装改良工事を実施。

また、今年度に、LED交通安全灯を設置するなど、工業地域内の環境改善を図り、安全対策に取り組む。

道路側溝や水路が未整備の箇所も、土地利用の状況に合わせて、土地所有者や利用者のご理解をいただくなかで、整備を進める。

今後は、老朽化した路面、側溝、水路の改修など適切な管理をおこない良好な環境づくりに努める。

■一般質問■

田口　浩嗣 議員

一問一答方式

Q 災害弱者対策として地理情報システム導入の考えは

A 地理情報システム等は検討課題としたい

質問

先日の災害では、岩手県岩泉町の高齢者グループホームに、濁流が押し寄せ9人が亡くなられた。町から、避難準備情報は出されたが、受け取る側が、理解し避難しなければ、命は救えない。本町での避難情報は、間違いなく住民へ伝達可能なのか。

総務課長

要支援者には、避難行動要支援者名簿を作成し、名簿を消防、警察、自治会、民生委員と共有している。また、災害情報伝達についての啓発や、連携した合同訓練に取り組んで行く。

行政の情報、対応も100％ではない。「自分の命は自分が守る」の大原則を住民の皆さんにもっていただくことが極めて重要であると認識しており、啓発に努める。

質問

情報伝達の重要な手段、同報防災無線の設置検討を改めて要望する。

また、地理情報システム等の導入は考えられないのか。このシステムは、地理情報を各課共有でき、防災面では、要支援者の所在が確認でき、緊急時の人命救助や避難管理に有効と考えられる。システム導入の考えは。

町長

同報無線の整備は、あらゆる機関や業者から意見をうかがいながら、本町に最適なシステムを構築していきたい。

地理情報システム等は検討課題としたい。

Q 加工施設や集荷施設の誘致の考えは

A 生産者の声を聞き支援したい

質問

京都府も荒廃地を増やさない対策として「農地中間管理機構」を進めているが、課題が多いのが現状である。

高齢化により適正な管理が困難な際の荒廃地を増やさないために、野菜の加工・集荷施設の誘致や計画等の考えは。

また、特産九条ネギなどの野菜を全国にPRする部隊を送る「広報部会」を設立してはどうか。

産業課長

京都やましろ農業協同組合は、ネギを現状より20ヘクタール生産拡大を目標に、育苗施設の拡充やカットセンターの設置に取り組む予定だ。

新たな施設が本町に建設され、町内農業者の利益を期待する。

PRの部会はネギに限らず生産者の声を聞き支援したい。

町内にあるネギの集荷施設（JA）

町長

本町だけでなく全国的に厳しい状況の社会の流れで、静観するだけではなく、行政として、農業が前向きな支援は惜しまない考えだ。

■一般質問■

松尾　憲 議員

一問一答方式

Q 二期目の町政運営の基本的な考え方は

A 未来創造プラン35の宣言を着実に実施していく

質問

先般の町長選挙は無投票となり、住民の皆さんに、町長の基本理念・基本方針「未来創造プラン35の宣言」について、十分周知徹底する機会が失われた。「35の宣言」の目標を掲げ「第5次総合計画」、町「総合戦略」を、日付をつけて具現化すると話されたが、二期目初年度には何をどうするのか。

町長

選挙公約である「35の宣言」を目標として、防犯カメラの設置、交通安全灯のLED化を既に進めている。クロスピアくみやまの活用による産業振興策、特別養護老人ホームの新設、さやまこども園の開園と中学校の給食実施など目標を定め実施に向け進めている。

賑わう「クロスピア市」

質問

「人口減少問題の克服」では、10年後の町人口推計は、1万6千人が1万4千人となり、このギャップをどう埋めていくのか。

町長

市街化区域では、既存住宅の有効活用の推進、新たな住宅地の確保には市街化区域の拡大として、産業立地・住街区促進ゾーンの整備と合わせ、交通利便性の向上、定住促進のための自治会加入促進に取り組む。

質問

「ものづくりのまち」久御山であるが、農業の担い手育成や工業の事業所減少が課題とされる中、経済の活性化を言われるが中身は。

町長

昨年策定した「ものづくりの苗処」計画の推進、創業支援セミナーや企業立地マッチング事業等に取り組む。

事業所減少の問題には、市街化区域・産業立地促進ゾーンの整備を進める。産業振興に向けては、関係機関との意見交換、企業セミナーの開催、創業者への「くみやまチャレンジスクエア」のサポートなどに取り組む。

今年の商工会フェスタ

Q 住民と共に町政運営を進めるべきだが

A 行政としての努力は当然で、議会の協力を得て進める

質問

今回の町長選挙で、「国・府との太いパイプ」を盛んに言われた。町政運営には、一党一派にかたよらない、オール久御山のスタンスが第一である。

また住民との直接対話を含め住民と共に町政運営を進めるべきと考える。

町長の思いは。

町長

第5次総合計画策定において、多くの皆さんの参画で議論を積み上げて反映してきたところで、心配される面はないと思っている。

行政としての努力は当然で、住民の代表である議会の皆さんの協力を得る中で、町政運営を進める。

■一般質問■

中野ますみ 議員

一括質問方式

Q 中小企業振興条例の制定を求める

A 条例制定が必要であるかについて見定めていく

質問

地域経済の担い手である中小企業で年間所得300万円未満が、6割を超えているのが現状だ。

中小企業を支援する公の「宣言」は地元業者を励ます。中小企業振興条例の制定を求める。

産業課長

昨年度に策定した産業計画に基づき、中小企業も含めた町内企業に対しても、条例が必要であるかについて見定めていきたい。

町内企業の製造製品展示（クロスピアくみやま）

質問

循環型経済の波及効果を図る、住宅リフォーム助成制度を創設する考えは。

産業課長

小規模事業者及び住宅助成施策についても一定の施策を実施している。住宅リフォーム助成制度を創設する考えはない。

質問

5人以下の従業員を有する「小規模企業振興基本法」を位置づけている。その責務は。

産業課長

企業の持続的発展・着実な運営を支援することは、必要不可欠であり実情に応じた支援をしている。

質問

久御山町中小企業低利融資制度（マルク）について―

①融資の対象は、住所が町外でも、ある一定継続して町内で事業をおこなっている場合も可能か②利率の引き下げは③運転資金・設備資金の返済期間の延長は。

産業課長

融資の対象は、当該制度の原資も税金である事から納税義務のある中小企業者を対象に実施する。

利率引き下げは、市場金利の動向も注視する中で、利率の変更を検討する。

返済期間の延長は、宇治市・城陽市と協調しながら調整を図る。

質問

住宅改修は経済の地域内循環があり、専門家や事業者や職員や住民との研究会を求める。

産業課長

今のところ、研究会は考えていない。

Q TPP批准による諸問題についての見解は

A 国益を損なうことがないか懸念がある

質問

TPPの詳細は国会にも、国民にも知らせなくてもよい、再交渉はできないとあるが、本町の基幹産業である農業を初めとし、商業・医療への見解は。

町長

それぞれの内容、詳細が不明であることから、国益を損なうことがないかという懸念がある。

混合診療については基本的に、政府の直近の見解では、混合診療は含まないとの報告を受けている。

また提供される情報、動向等を十分注視していく。

淀大根

委員会視察報告

総務事業常任委員会

とかち物産センター（北海道）8月24日

今後も三者が一体で取り組みたい

とかち物産センター（帯広市帯広駅の東館2階）を視察した。

帯広観光コンベンション協会と帯広物産協会、十勝観光連盟の事務所があり、観光案内と物産紹介機能を一つにした、情報発信の拠点となっている。

東京ドーム210個分のガーデンや、世界唯一の「ばんえい競馬場」、また冬は真っ白な銀世界など大自然の観光や、基幹産業である農業、地場で作られた食品の紹介・販売、また東アジアからのインバウンドにも力を入れている。

今後も三者が一体で、観光振興に取り組んでいきたいとのことであった。

情報発信の拠点となっている・とかち物産センター

ふるさと納税全国まちづくりサミットin上士幌町（北海道）25日～26日

■サミット一日目

○講演・上士幌町（北海道）

ナイタイ牛などの返礼品、納税は15億円（税収の約5倍）だった。

○事例発表・遠別農業高校（北海道）

遠別農業高校生が作った加工品（ソーセージ・ベーコン・米・野菜・花の苗など）の返礼品で納税は1億3千万円であった。

サミット開会式で披露する子どもたちの和太鼓

○事例発表・天童市（山形県）

フルーツの特産品とともに、形として残る駒形のキーホルダーを一緒に送っている。納税は32億円である。

○事例発表・浜田市（島根県）

漁業者、地域が一体となって「水産業のまち」をPRし、その結果、納税は21億円である。

○事例発表・白馬村（長野県）

返礼品は、国際的観光地へ何度も訪れてもらえるために、スキー場の共通券や宿泊補助券など。納税は1億9千万円であった。

■サミット二日目

○事例発表・越智町（高知県）

小さな過疎の町で特産品がないため、総務省の支援を受けて「地域おこし協力隊」をつくり頑張っている。

○事例発表・東川町（北海道）

大雪山国立公園の景観と多くの写真イベントを開催し、ふるさと納税者に株主制度を導入し、納税は9千万円である。

久御山町も今一度考えるべきでは

事例発表のほかにも特別講演や主催講演があった。

特別講演の神戸大学大学院経営研究科・保田准教授は、「ふるさと納税は経営学の視点が極めて重要で、自治体は運営する時代から経営する時代へと変わってきている」と述べた。

なかでも、ふるさと納税は、自治体に対して「自分たちで経営しなさいという国からのメッセージにほかならない」の言葉が印象的であった。

久御山町でも、今一度「ふるさと納税」について考えるべきではないかと思う。

意見書

9月8日、議員提出の「北陸新幹線京都府南部ルートに関する意見書」案は、賛成多数で採択となりました。

「意見書」は、国会等へ9月12日に送付しました。

北陸新幹線京都府南部ルートに関する意見書

整備新幹線の建設は、国内の地域間交流圏を著しく拡大させ、沿線地域の産業、経済の発展等の地域活性化に大きく寄与するだけでなく、我が国の経済全体の活性化や国土の均衡ある発展を図る国家プロジェクトである。

その中でも北陸新幹線は、大規模災害時においては東海道新幹線の代替補完機能を有するとともに、日本海側国土軸の形成に必要不可欠なものである。

敦賀・大阪間のルートについては、本年４月27日に与党北陸新幹線 敦賀・大阪間整備検討委員会において小浜・舞鶴・京都ルート、小浜・京都ルート、米原ルートの３案が選定され、加えて、京都・大阪間については、関西文化学術研究都市付近を経由するルートについても、参考として調査されることとなり、現在、国においてルート選定に向けた調査が、本年秋頃に取りまとめることとして実施されており、その結果をもとに政府がルート決定することとなっている。

とりわけ、京都・大阪間については、関西文化学術研究都市付近を経由することで、国家プロジェクトである関西文化学術研究都市の整備を大きく推進させ、我が国の科学技術等の発展に大きく寄与するとともに、京都南部地域の開発、地域活性化などに大きな効果をもたらすものと考える。

ついては、北陸新幹線 敦賀・京都間は小浜・舞鶴ルートを、そして京都・大阪間は関西文化学術研究都市付近を経由するルートを選定し、全線整備を早期に実現されるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年９月８日

京都府久世郡久御山町議会

ようこそ久御山町へ

香川県三木町議会
来町日／平成28年7月14日
来町人数／議員有志6人
視察目的／「のってこタクシーについて」

宮崎県綾町議会
来町日／平成28年5月24日
来町人数／文教福祉常任委員5人
視察目的／「幼保小中一貫的教育による学力向上と個性的で創造力豊かな児童生徒の育成施策について」

綾町議会（右）

（左）三木町議会

編集後記

信貴町政２期目にとって、初めての定例会が終わりました（9月定例会）。

議会は、住民にとってより良いまちづくりへと繋げるために、行政をチェックする機関です。そのため、「議会だより」も、わかりやすく「伝わる」広報紙として編集に努力を重ねています。

今後も、ご意見とご愛読をお願いします。（田口）

〈広報広聴委員会〉

委員長　巽　悦子
副委員長　信貴　惠太
委員　松尾　憲
委員　田口　浩嗣
委員　中　大介
委員　戸川　和子
委員　塚本五三藏
オブザーバー
（議長）　島　宏樹

このまち
このひと
No.13

本当の息子のように接して

認定農業者（相島在住・45歳）小嶋直樹さん

今回の「このまち・このひと」は、外国からの農業体験者を受け入れ、指導にあたっている小嶋直樹さんに直撃インタビューしました。

小嶋さん（左）とルスディアンさん（右）

二十歳で渡米し農業学ぶ

農業者の小嶋直樹さんは、20歳の時に、公益法人国際農業者交流協会からの推薦で、アメリカのカリフォルニア州へ農業実習生として渡米しました。

ワシントンのビッグ・ベンド・コミュニティ・カレッジ（BBCC）等で学び、帰国後は、久御山町で農業一筋で頑張っています。

小嶋さんは、昨年から外国の農業体験者の受け入れをはじめ、今年で2人目になります。

きっかけは、一昨年の東海・近畿ブロック農業者交流協会のOB会での知人との出会いでした。外国の農業実習生と一緒に出席していた知人から、色々と体験談を聞く中で、自分も実習生を受け入れてみたいと思いました。

今回はインドネシア中央ジャワ州出身の22歳、ルスディアン・ドゥイ・ウトモさん。

ことばの壁乗り越えて

ルスディアンさんは6人家族で、標高1800メートルの高地で、タバコの葉っぱやキャベツ、ジャガイモなどの野菜を作っています。

日本の農業や文化に興味があり、なによりも驚いたのは日本の農業の機械化でした。

「小嶋さんのところに来て、初めて食べた鴨鍋や温泉が大好きになり、小嶋ファミリーの優しさが大変嬉しい」とルスディアンさん。

「ことばの壁を乗り越え、彼からエネルギーをもらい本当の息子のように接しています」と笑顔で答える小嶋さん。

渡米した小嶋さんの体験が、指導に大いに生かされています。

農業実習生として来日し、小嶋さんの指導を受けるルスディアンさん

聞き手・広報広聴委員（戸川・田口）

表紙の「くみやま」を書いたのは山本華愛（はな）さんです。

佐山小学校１年生
山本華愛さん

山本華愛さんは、少し照れ屋で、笑顔がとてもかわいいです。

好きな食べ物はサクランボで、苦手な食べ物はピーマンです。

休み時間は、ブランコで友達と遊んでいます。好きな教科は、図工で、特に絵を描くことが好きです。

泳ぐことが得意で、クロールで25メートルを泳ぐことができます。そのほかピアノも練習しています。

発行／京都府久世郡久御山町議会・編集／広報広聴委員会
〒613-8585　京都府久世郡久御山町島田ミスノ 11　TEL 075(631)9996・0774(45)0105　FAX 075(632)3000
E-mail　gikai@town.kumiyama.lg.jp
この広報紙は、環境にやさしい植物性インキを使用しています。